

年度	2011年度	開講部局	若手研究人材養成センター（大学院共通科目）	
講義コード	85011002	科目区分	専門的教育科目	
授業科目名	課題発見・問題解決、発想法			
授業科目名 (フリガナ)	カダイハッケン・モンダイカイケツ・ハッソウホウ			
英文授業科目名	Problem solving and conception			
担当教員名	三枝 省三			
担当教員名 (フリガナ)	サエグサ ショウゾウ			
研究室の場所	V B L o f f i c e 204	内線番号	6841	
E-mailアドレス	shosaegu@hiroshima-u.ac.jp			
開講キャンパス	東広島	開設期	1年次生 前期	
曜日時限	集中	講義室		
授業の方法	講義・演習	授業の方法 【詳細情報】	講義中心、ディスカッション、学生の発表	
単位	1	週時間		
対象学生	大学院生			
授業のキーワード	課題、問題、構造化、情報、仮説と検証、シナリオ、発想法、技術の進化、TRIZ、思考パターン、ゼロベース思考、仮説思考、KJ法/BS法など			
教職専門科目		教科専門科目		
プログラムの中での この授業科目の 位置づけ				
到達度評価の評価項目				
授業の目標・概要等	<p>概要：現在の社会で多くの企業の欲しい能力が、社会人であり、本科目の課題解決能力と発想法である。短期（2日間）であるが、これらのエッセンスを吸収可能なプログラムにしている。講義はティーチングとディスカッション形式で構成しており、実務能力の涵養が可能となっている。</p> <p>目標：情報収集をし、課題発見から課題解決までの流れを修得するのが大きな目標である。その要素である、仮説/0ベース思考、情報収集、構造化と対策方法およびその実施、対策の検証、一連のプロセスでの学習項目の整理とその対応策の策定、これらの理解とそれを実践する方法論を修得する。実際の議論を通じて仮想体験をし、より実践力の高いものとする。</p>			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロ（現代社会における課題の有り様） 2 仮説思考とゼロベース思考 3 情報の収集と分析 4 課題の構造化（TOC）とロジカル思考 5 解決案策定の創造的発想法（KJ/BS法） 6 技術の進化（TRIZ）と思考パターン考察 7 総合実践事例 8 まとめ：総合討論 <p>演習を実施。その中で、修得することを主とする。 仮説検証、TOC、SWOT、戦略技法、KJ法、カードBS法など。</p>			
教科書・参考書等	<ol style="list-style-type: none"> 1) 齋藤嘉則、問題解決プロフェッショナル「思考と技術」、ダイヤモンド社、1997 2) Victor R. Fey Eugene I. Rivin 畑村洋太郎、TRIZ入門 思考の法則性を使ったモノづくりの考え方、日刊工業新聞社、1997 3) 宮永博史 「ひらめき」を生む発想術、C & R研究所、2008 4) 星野匡、発想法入門<第3版>、日経文庫、1898 			
授業で使用する メディア・機器等	パワーポイント、テキスト、配付資料			
予習・復習への アドバイス	予習は不要である、講義の中で一気に理解して頂きたい。予習には参考書1)を推薦する。			
履修上の注意 受講条件等	事前課題（例：こんな問題に直面しており、困っている。もしくはこんな問題を解決した）を1件持参のこと			
成績評価の基準等	講義の積極的参加（30%）+ 課題（小テスト）（70%）の総合評価			
メッセージ	理工系学生は、専門領域の学問を深めることが、第一であるが、企業の中では、研究開発や技術開発の開発のみならず、それらをどのように経営に生かすかが常に検討されている。問題から課題を設定して課題解決する一連の過程において必要となる思考法、発想法について実践的に学んでいく。この授業で得られる知識や技術は、将来、責任を任せられる立場になる			

メッセージ	ほど要求される内容である。
その他	